

深大寺小からこんにちは

令和6年11月5日(火)

# 防災訓練 (地震→大津波警報発令)

## 「～だろう」ではなく「～かもしれない」

11月1日(金) 1時間目

緊急地震速報の音が校舎内に響き渡りました。校舎内にいた全校児童が、すぐに①机の下にもぐり次の指示を待ちました。「訓練、訓練。地震です。」という放送を聞き、教員はすぐに②教室の出入口を開け、③カーテンを閉めました。「揺れはおさまりましたが、大津波警報が発令されました。」④「1・2階にいる人は上の階に避難します。避難開始。」

**お**さない **か**けない **し**ゃべらない **も**どらない の約束を守って避難することができました。



避難訓練では、なぜ①～④のような行動を練習するのでしょうか。

それは、有事の時には「～だから、たぶん大丈夫だろう。」と考えるのではなく、「～だけど、・・・かもしれない。」と、危機管理のアンテナを高く張ることが大切だからです。

学校以外の場所でも「落ちてくるかもしれない。」「倒れてくるかもしれない。」「移動してくるかもしれない。」等、危機管理のアンテナを高めて、生活空間を見直してみましよう。